

議会だより のだ

2016
2/26
第134号

ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp/>
Eメール gikai@vill.noda.iwate.jp



～願いを込めて～

小正月行事 1月15日

子ども達が思いを書いた短冊と餅花を飾りました。餅花を飾る本来の意味としてはその年の豊作の前祝とされています。また、同時に行われる「どんと焼き」では火にあたったり、焼いた餅を食べると1年間健康でいられるという言い伝えがあります。

平成27年12月 —第2回定例会—

- 12月定例会のあらまし P 2～3
- 一般質問 5人が登壇 P 4～11
- 総務教民常任委員会 学校視察
陳情を採択 P 12
- 10月臨時会 & 12月定例会採決一覧 P 13
- 議会の動き
東日本大震災津波復興特別委員会 P 14

新拠点着工！

12月定例会は、12月8日から11日までの4日間行われました。村長提出議案は31件で、補正予算、条例改正、人事案件などを審議し、全て原案通り可決しました。中でも久慈消防署野田分署の新築工事は議案を可決後、すぐに工事が進められています。

(2ページ)

一般質問は5人が登壇し、村政全般に鋭く切り込みました。

(4～11ページ)



建設工事が進む新野田分署予定地



現在の野田分署
新分署は平屋建てになる
予定です。

12月定例会 主な質疑内容

野田分署

八幡議員 全国で地盤沈下の問題が起こっているが、対策は。

地域整備課長 高台から出た土を1年以上盛って地盤を固めた。

米田徳一郎議員 なぜ平屋建てなのか。

総務課長 どういった施設が使いやすいか協議し、敷地面積や周辺農地への影響を加味しながら決定した。

一般会計 補正予算

米田忠一議員 東日本大震災津波復興交付金基金積立金に関して、内容は。

総務課長 国とのやり取りで認められた補助金を復興交付金として受け、交付金専門の基金へ積み立てている。事業開始時にその基金から繰り入れて使用する。内容は、道路事業と都市公園事業である。

米田忠一議員 非常備消防費の備品購入費の内容は。

総務課長 消防団の団旗購入経費である。老朽化に伴い更新する。

山田議員 コミュニティ活動支援事業の減額の理由は。

復興むらづくり推進課長 下安地区の集会所の備品購入費の分である。200万円を見込んでいたが、114万円程支出した。

野田分署新築工事

国民宿舎事業 特別会計

米田忠一議員 備品購入費67万4000円の内容について。

産業振興課長 魚焼き用のグリル、貴重品ロッカーを購入した。いずれも経年劣化で使用に耐えないということから購入。

米田忠一議員 指定管理料の内容は。

産業振興課長 地下タンク、ボイラー室の換気扇、湯量計の修繕料である。

マイナンバー

宇部議員 個人番号を各機関で連携させないで、今まで通り事務を取り扱うことはできないか。

総務課長 連携しない方法はある。しかし、役場に来て申請事務を行う際に、添付書類は今まで通り自分で揃えることにな

る。今回の個人情報保護関連の法律は、そういったわずらわしさをなくすることが一つの効果になっている。

土地区画 整理事業

米田忠一議員 事業費で7000万円ほど増えているが、これは復興交付金か。

復興むらづくり推進課長 すべて復興交付金事業である。

小野寺議員 歩道の一部が当初のアスファルト舗装からインターロッキング舗装に変更になったということがあるが理由は。

復興むらづくり推進課長 設計当初から、こういった要望があり、検討を進めていたが、最終的にどの部分にどのようなインターロッキング舗装をするかが確定しなかったため、工事をしながら中身を詰めた。

可決された主な議案

久慈消防署野田分署新築工事の請負契約の締結

請 負 者：宮城建設株式会社
契約金額：2億8,944万円

野田村総合運動公園野球場改修工事の変更請負契約の締結

請 負 者：株式会社 晴山石材建設
契約金額：4,752万円（変更前）

↓
約5,496万円（変更後）

工事内容

- ・内外野の表層入れ替え
- ・スコアボード、バックスクリーンの塗装工
- ・内外野境界の段差解消の張り替え
- ・排水暗渠



改修工事中の総合運動公園野球場

城内地区津波復興土地区画整理事業（3号）工事の変更請負契約の締結

請 負 者：北星鉱業株式会社
契約金額：4億6,980万円（変更前）

↓
約5億4,173万円（変更後）

工事内容

- ・区画道路の一部をアスファルト舗装からインターロッキング舗装へ変更し、視覚障害者用誘導ブロックを追加。
- ・学習センター周辺の排水整備と舗装内替え
- ・既存の舗装及びコンクリート構造物の撤去
- ・污水管整備に伴うマンホールポンプ、管渠等の仮排水施設の撤去



インターロッキング舗装の例（のんちゃん広場）

インターロッキング舗装・・・アスファルト舗装と比較して水害や地盤沈下を緩和する効果があります。



変更後の舗装路面（区画道路1号線 本町通り）



村政を問う

古館幹男 議員

村営住宅の建設予定は

村長 全部で12戸を計画している

古館議員 震災前には借家もかなりあり、賃貸住宅は充足していたが、震災により流失し、住宅事情は一変している。賃貸住宅で生活していた方々は、災害公営住宅へ入居できるが、結婚した方々のほとんどは久慈市等で生活しているようだ。この状況をどう捉えるか。

取り組んで参りたい。

古館議員 野田村は他の被災地と比べると、被災された方々の再建については目途がついたのではないかと。今後は野田村に住みたいと考えている方々に対し、住まいの提供をしていかなないと、人口流失につながりかねないと思うが、村営住宅の計画は。

村長 城内地区と泉沢地区に計画しており、玉川地区への計画は考えていない。村有地であるとか色々な条件等の中で整備計画をしており、今後色々な場所について検討していきたい。

古館議員 国立公園内とか災害時の避難場所指定を考えると、今の状態で良いとは思われない。風光明媚な場所であることから、一体的な活用を考えても良いのではと考えるが。

村長 震災後、被災者の住宅再建を第一に進めてきたが、民間の賃貸住宅の再建が進んでいない状況は十分認識している。村外への転出が人口減少の要因となっていることから住宅確保は急務である。村では公営住宅の整備計画と合わせて、生活の場所として選んでもらえる様な魅力造りを進め、人口定着、地域の活性化に

村長 建設予定戸数は全部で12戸を計画しており、27年度中に実施設計の契約をしたいと考えている。

古館議員 均衡ある村の発展、人口バランスを考えて玉川地区への建設を考えてはいないか。

村長 今後についても資材の保管場所が必要なことから、適正な管理の下、資材置場として利用していきたいと考えている。

旧ユース

ホステル

古館議員 現在ユースホステル跡地は資材置場として使われているが、これから現在のような利用をしていくのか。

村長 村有地であり、資材を置ける場所、車が入れる場所等を勘案した結果として、現在の場所を使っているが、利用法については様々なことを勘案しながら、検討して行く。

古館議員 村営住宅の建設予定地としての考えは。

村長 現時点では考えていない。

みちのく 潮風トレイル

古館議員 環境省指定のみちのく潮風トレイルの野田村ルートの具体的な計画は示されているか。



玉川地区の旧ユースホステル跡地

村長 野田村ルートについては、昨年度住民参加によるワークショップの開催や現地調査等を実施しながらルート案を策定、環境省との協議を経て本年8月3日に野田村・普代村北部間が開通した。野田村ルートは海岸沿いだけではなく、集落内や史跡、津波の脅威が実感できる場所等様々な通過ポイントが用意され、楽しみながら歩くことが出来るよう設定されている。

村長 情報をコンパクトにしたものを村民にも周知して行きたい。

古館議員 来た方々がパンフレットのようなのを持って歩いているようだが、できれば村民にも資料を提供していただきたい。

村長 野田村のコースが開通したと広報はしているが、詳細なコースの周知は不十分である。国への要望等も含めて、村で出来る範囲の表示をしていく。

古館議員 ルートの整備案内板の設置が必要と考えるが、国へ要望すべきでは。



小さく、見えづらい標識が設置されています（陸中玉川駅付近）



村政を問う 中川大和 議員

交流物産等複合施設の建設は

村長 三陸沿岸道路の開通に伴い整備する

中川議員 三陸沿岸道路の仮称野田IC近辺に交流物産等複合施設を建設する予定とのことだが、施設の規模と開所の時期は。

村長 数年後に予定される三陸沿岸道路の開通に伴い、国道45号の交通量が大幅に減少することにより、本村経済への影響が懸念されるためであり、村内に誘導するための新たな玄関口、村内各所への起点となる施設が必要との考えから、本年度に交流物産等複合施設の基本構想を策定する。想定規模は、800㎡程度の交流物産施設と駐車場などを想定し、三陸沿岸道路の開通時期に合わせる形で進めていく。

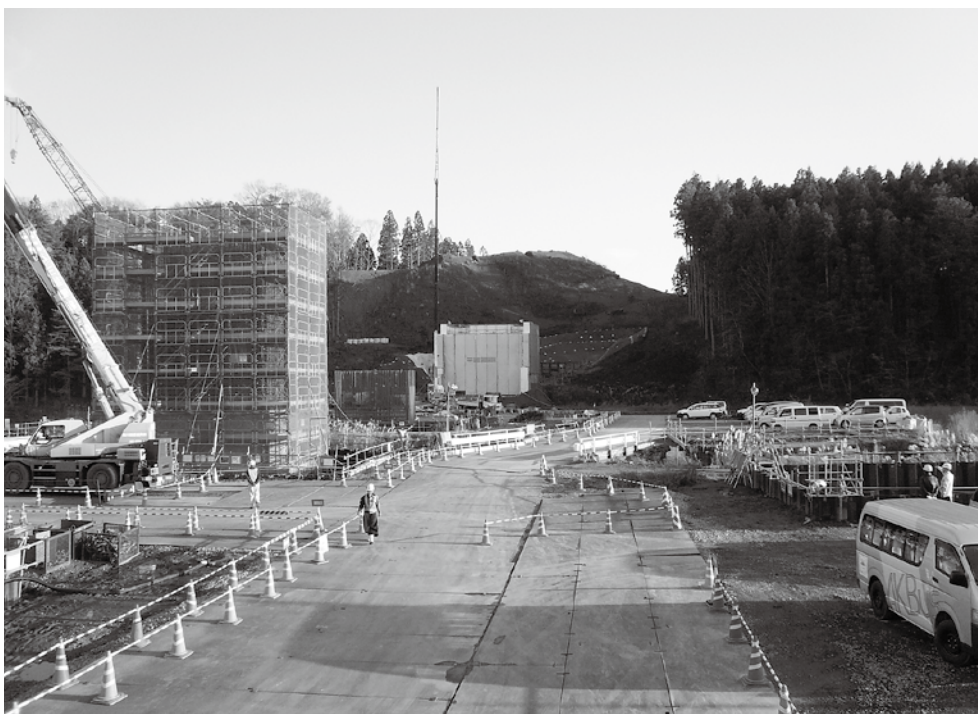
中川議員 交流物産複合施設は具体的にどのような設備か。また、施設運営はどのように行うのか。

村長 土産品・産直販売スペース、食事・休憩スペース等のほか、24時間対応のトイレ、EV充電設備等を

想定し、施設の運営は指定管理の方向で考えている。

中川議員 国道45号の交通量が大幅に減少する試算だが、三陸沿岸道路の利用率や野田ICの利用率はどの程度見込んでいるのか。

村長 交通量の調査、検討はまだ行っていないが、報道によると、すでに開通したところでは約7割減少したところもある。三陸沿岸道路が無料ということで、物流が沿岸部にかなり移ってくると思われる。



野田IC建設予定地付近の工事現場（27.11月撮影）

中川議員 久慈広域4市町村でIC、SAのような施設を整備するとの話もあるが。

村長 確かに久慈広域市町村合同での大きなスペースを作ろうという話も進んでいる。しかしながら、それぞれの市町村で地域に降りてほしいという思いはあるので、それとは別にトラックステーション的な施設も必要と考える。

中川議員 交流物産複合施設の開所にあたり、今現在同じような役割を果たしている道の駅、観光物産館はあぶるのあり方は。

村長 観光物産館はあぶるについては、陸中野田駅でもあり、交通量が減少しても近くの方々も利用しているという実態もある。それを踏まえながら、ワークショップ等で意見を伺いながら構想策定のなかで併せて検討していく。



観光物産館 あぶる 今後のあり方が検討されます

中川議員 野田IC近辺に交流物産複合施設ができる、そこで完結してしまい、野田村内への経済・観光誘導が劣ってしまうのではないかとと思われるが、村長の見解は。

村長 まず、交通量が減少するのは確実だと思われるので、まずは降りていただかなければならないの思いで、村の玄関口として施設を整備する。そこから村内への誘導をどのようにしていくのか検討していく。

国道45号 歩道整備

中川議員 国道45号線玉川～下安家区間の歩道整備について、震災復旧工事による大型車両の増加や、みちのく潮風トレイルのルートの一部にもなっていることから、整備が必要だと思われるが、村の対応は。

村長 歩道の未整備区間について、震災以前から歩行者の安全を図るため整備を国に要望している。しかし、震災以降は国道45号の早期復旧と三陸沿岸道路の整備促進について重点的に要望活動したところであり、今後機会を捉えて整備をお願いしていく。

中川議員 今現在、復興関連の大型車両の交通等が大幅に増加し、非常に危険な状態だと感じる。もっと強く要望すべきと思うが、具体的にどのような要望をし、国からどのような返答があったのか。



国道45号線（玉川～下安家間）大型車両が往来し、危険な状態です。

村長 様々な要望の際に海岸線沿いを散策する観光客及び、歩行者の安全を図るために口頭や村としての単独の要望書で要望している。国からも利用者の実態等を調査したうえで検討したいとのことなので、歩道整備について今後、新たに要望を進めていく。



村政を問う

中沢地区の集落道整備は

米田 徳一郎 議員

村長 生活道として整備して行く

米田議員 中沢地区の集落道は、林道広内中沢線に接続されたことにより集落間道路、災害時の迂回路、避難路として重要な路線と認識する。同地区の県道長内野田港線の嵩上げ復興と合わせて早急に整備をすべきでは。

村長 この集落道は地区からの要望を受けて昭和60年に農村総合モデル事業により幅員3メートルで整備したもので、30年あまりが経過し側溝の痛みが進んでいる。通行の支障がないよう計画的な維持補修や退避スペースの設置等に対応しながら中沢地区の生活道として整備して行くことを基本として考えている。



中沢地区の集落道

仮設住宅

米田議員 仮設住宅の集約時期と仮設住宅の撤去並びにグラウンドの復元に要する期間は。

村長 災害公営住宅の入居は来年4月から始まる。それに伴う退去が完了した後、残った方々の再建スケジュール等を勘案して集約時期を判断したい。グラウンドの復旧については県内での実績がないので、暗渠や土の入れ替えなど、仮設住宅の撤去と合わせて一年程度の時間を要すると県から伺っている。

村有地利用

米田議員 第一堤防と三鉄間、農地堤防間に約4ヘクタールの村有地があると聞くと、県との協議結果と村有地の利用計画、パークゴルフ場の整備計画は。

村長 前浜地区は保安林区域に指定されており、流失した防潮林の再生に向けて、本年6月に県に対し村有地も含めた防潮林復旧事業を申請している。防潮林再生に係る検討については本年度に担当者レベルで2回開催したほか、地元の意向を把握するために住民、関係団体との意見交換をおこなっている。県では、28年度に測量調査、基本設計を策定し、29年度から植栽を始めるという。パークゴルフ場については、県の事業を見極めながら都市公園を含め検討したい。

工業高校存続

米田議員 県が示す高校再編の内容と久慈工業高校への影響について。また、工業高校としての存続をどのように訴え守る考えか。

村長 学校統合など具体的な案は示されず、「意見交換や要望を聞いた上で、再編計画策定に取り込む」というスタンスをとっているところであり、具体的な議論は深まっていない状況だ。今後については、年内に再編計画案を公表した後、パブリックコメントを経て再度地域説明会を開催することになっている。久慈工業高校は本村にとって単なる教育機関に止まらず、地域になくてはならない施設と考えており、小規模校ならではの特色を持たせるなど、魅力ある教育施設になるよう、引き続き意見・要望を行っていく。

平成28年度 予算編成

米田議員 村長の平成28年度予算編成に向けた基本方針と復興事業・通常事業予算の見込みと新会計システム導入の時期を示せ。

村長 復旧・復興事業に係る経費については被災者生活再建支援事業、土地区画整理事業及び都市公園事業等を継続して実施する必要があることから、引き続き国や県状況を踏まえ、適切に対処すると共に、通常事業については、住民のニーズを的確に把握し、事務事業の必要性と優先順位を見極め、積極的な歳入確保に努めながら施策の重点化を図る。また、地方創生事業については、本村の将来を左右する重要な事業と捉え、国の新型交付金を財源の基本としながら、協力にを進める必要があると考える。新会計システム導入時期については、平成29年度当初から運用開始を予定している。

圃場整備

米田議員 水田の圃場整備に係る旧用排水路や畦畔が取り残された理由と維持管理の考え方を示せ。



長地地区のようす

村長 施工主体である県北広域振興局に確認したところ、作付け再開を優先し基幹工事から施行したことによるもので今後、補完工事の中で水路組合などと協議しながら対処すると回答を得ている。

村政を問う 山田陽子 議員

都市公園の管理・運営は

村長 有償ボランティアが管理することを含め、あらゆる方向から検討する



山田議員 都市公園の管理運営について、村ではボランティアの方向の考え方で進めており、そのことは管理運営上行き詰まる可能性が高いと思うが、有償ボランティアなどの組織が管理運営する考え方については。

村長 平成25年度の21世紀むらづくり委員会地域整備部会に諮問し、部会では直営管理と各種団体を含めた指定管理の併用方式、指定管理方式等あらゆる方向からの検討の中で、有償ボランティアなどの組織も検討されるものと考えている。

創生総合戦略

山田議員 野田村まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に向けて、人口減少対策や将来に向けた地域活性化に取り組み始めたようだが、その計画の進捗状況と策定は。

村長 これまで3回に渡る策定委員会を開催したほか、一般村民、高校生、村に関わりを持つ各地の大学生等による、村民ワークショップを開催し、村民の地域づくりへの参画意識の醸成を図りながら、課題抽出と有効な政策、人口への影響な



整備が進む土地区画整理区域

どについて、分析と検討を進めて、今後第5回までの委員会を経て、人口ビジョン及び総合戦略を年度内に策定する。

住民懇談会

山田議員 毎年開催されている住民懇談会は今年度も16か所で実施された。私はこれまで13年間、できる限り各地域へ向いてきたが、年々各地域の住民の参加者数が減っているようだが、参加状況は。

村長 被災のあった平成25年度までは300人を超える参加状況で、平成26年度は282人、開催時期が9月下旬からとなった平成27年度は237人と参加者が減少している。

山田議員 参加者数の減少の要因と今後もこれまで同様のやり方で進めていくのか。

村長 地域の要望・課題等



住民懇談会のようす

については、減少の人数だけでは判断することなく、地域に入り込んで、直接住民の方々の意見を伺うと言いうことは続けて行きたい。

山田議員 要望等に関しての答弁については、不満の声もあり、懇談会の在り方に工夫が必要で地域住民が主体的に参加できるように、もっと努力、工夫をしていくことが必要だと考えるが。

村長 沢山の要望に、真摯に答えている。日程についても各地域と柔軟に対応している。

子育て支援センター

山田議員 野田村保育所の地域子育て支援センターの利用状況について。

村長 毎週日曜日から金曜日まで育児相談事業・毎週水曜日と第1・第3金曜日のなかよし広場を実施。月一回程度の育児講座や検診に合わせて、出前保育、子育てサークル事業を実施している。平成26年度の年間利用状況につきましては、育児相談24件、なかよし広場述べ利用者数は1346人となっている。

山田議員 なかよし広場について、スペースと回数を増やすなど改善について対応は。

村長 保育会と協議して進めて行く。

防災復興教育

山田議員 防災復興教育の充実を目指すために、防災復興教育支援の予算化をすべきだと思うが。

村長 今後、村の10年、20年先の復興・発展を支える児童生徒が希望と勇気を持ち前へ進めるよう支援していく。

子ども議会

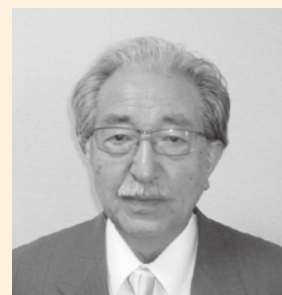
山田議員 子ども議会について、児童生徒の学習一環として、子ども議会を実施してはどうか。

村長 教育委員会と協議し検討していく。

教育長 学校からの要望等があれば、協議して進める。



皆さんが集まる機会を増やし支援していくことが大切です



村政を問う

宇部武典 議員

被災者の医療費等免除措置の継続は

村長 現行制度のまま1年間継続する

宇部議員 県では被災者の医療費・介護保険利用料等の免除措置の1年継続を表明したが、村長の考えは。また、被災者の心身の現状をどう把握しているか。

宅価格も高騰する中で、国のこの姿勢をどう捉えるか。

村長 現行の制度では効果が十分とは言えないと認識している。機会を捉えて要望を継続していく。

支援員配置

村長 県の表明を受け村においても現行制度のまま1年間継続する。被災者の心身の問題に関しては、年2回のアンケート結果を基に運動不足の解消や専門家による相談支援センターを設けるなど支援を行っている。

宇部議員 災害公営住宅への支援員配置の現状と来春からの新たな配置をどのように考えているか。



完成目前の新町地区災害公営住宅

安保法

村長 現在4人が野田村社協に配置され必要に応じて訪問見守り等行っている。新町の災害公営住宅にも専任の支援員は配置せず、必要な支援を行っていく。

宇部議員 強行採決された安保法は、戦乱が続く地域での治安維持活動、集団的自衛権の行使など、憲法九条を踏みにじり、自衛隊の海外での武力行使を促進するものだ。安全保障法制の廃止を目指す国民連合政府実現の呼びかけに対する村長の認識と対応は。

村長 安保法強行採決については、国民に対する説明

TPP関連

が十分でなく、多くの国民の賛同があったとはいえない。国民連合政府構想については新しい活動の方向性として注視していきたい。

宇部議員 「大筋合意」した内容において、農林水産品83品目の半分以上の関税を即時あるいは一定期間撤廃することになっている。本村特産のブドウは8・5％17％の関税を即時撤廃となっているので、ワイナリーに取り組むにあたり、打撃になるのでは。

村長 合意内容や経営への影響など説明が必要だ。農林水産物の重要品目につい

バイオマス

発電

宇部議員 発電に伴って発生する多量の熱を野菜などの促成栽培や福祉・健康などの方面で活用する考えは。

村長 建設地周辺からの取水量が限られており、空冷式ボイラーと蒸気タービンが採用されるため、熱回収が費用的にも困難な状況とのこと。燃料乾燥施設から熱回収が可能とのことなので有効活用を検討したい。



建設中のバイオマス発電所

宇部議員 野田バイオマス発電所は12000kWhの規模ということなので、推定で、年間12万トン材積で20万立方メートルの木材を消費すると思われる。この量を20年間にわたって確保する計画は万全か。

村長 岩手県森連と県北7地域の森林組合を中心に「久慈地域木材安定供給協議会」を組織し、安定的な供給体制を構築して進めると伺っている。

宇部議員 優遇された値段で売電できる制度(FIT)による調達期間は20年間である。その後も発電事業は継続される見込みなのか。

村長 発電設備は20年以上の継続使用が可能ということなので、事業が継続されることを期待している。

マイナンバー

宇部議員 通知カードは全世帯に届けられたか。1月

からの本格運用に向けた準備は整ったか。

村長 配達は終了したとのことだが、役場に戻されたのは106世帯分あり、本人確認の上、早期の配布に努める。必要な機器等についてはセキュリティ確保のうえ今月中に設置完了を目指す。

宇部議員 「基礎項目評価書」を作成・提出・公表することになっているが、これに該当する事務はないか。

村長 評価書については国の特定個人情報保護委員会に提出しすでに公表済みである。

宇部議員 ミスやトラブルが相次いでおり、制度自体を凍結・中止するべきと思うが村長の認識と対応について伺いたい。

村長 全国的に問題が多発しており国民の不安が募っているが、マイナンバー制度は法律で定められたもの



ミスやトラブルを防ぐため、各自治体で対策が講じられています

で、本村としては錯誤のないよう事務を進めていきたい。

雨水排水対策

宇部議員 北区地区住民にとっては、雨水排水施設の設置が急を要する問題であるが、どのように受け止めているか。

村長 北区地区の雨水排水対策は長年の懸案事項であ

り、住民の安全安心の観点から重要な問題と考えており、計画的な事業の展開を図っていく。

いじめ問題

宇部議員 文科省は、いじめに当たるか否かの判断は本人が心身に苦痛を感じているかどうかという視点に立って取り組むことなどの方針を改めて示している。いじめに関する対応方針を



学校の主人公は児童生徒です

大崎教育長 野田村総合教育会議において「野田村いじめ防止基本方針」が承認され、校長会議及び生徒指導連絡協議会で内容の説明を行ったところだ。今後とも児童生徒が主人公の学校教育をめざして全力を尽くす。

どのように受け止めているか。

学びのようすは？

■総務教民常任委員会 小・中学校視察■

総務教民常任委員会（山田陽子委員長）は、11月19日に野田小学校と野田中学校を訪問しました。児童生徒たちの授業の様子を見学したほか、学校長をはじめ教職員と意見交換会を行い、教育現場の現状を把握し議会活動に生かすことを再確認しました。



授業見学のようす（中学校）



教職員との意見交換会（中学校）



授業見学のようす（小学校）



教職員との意見交換会（小学校）

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成 の拡充を求める意見書（要約）

わが国において、ウイルス性肝炎、特にB型・C型肝炎の患者が合計350万人以上とされるほど蔓延しているのは、国の責めに帰すべき事由等によるものであるということは、「肝炎対策基本法」等でも確認されているところであり、国の法的責任は明確になっています。

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、現在肝炎医療特別促進事業として実施されていますが、医療対象が限られており、医療費助成の対象から外れている患者が相当数にのぼります。

また、肝疾患に関しては認定基準が厳しいため、亡くなる直前であれば認定されないなど、現制度は肝炎患者に対する生活支援の実効性を発揮していないとの指摘がなされています。

肝硬変・肝がん患者は毎日120人以上の方が亡くなっており、医療費助成を含む生活支援の実現は、一刻の猶予もない課題であります。

よって、下記事項について、早期に実現するよう要望します。

- 1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること
- 2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

平成27年12月11日

岩手県野田村議会議長 貳又 正人

内閣総理大臣 殿
厚生労働大臣 殿
衆議院議長 殿
参議院議長 殿

12月定例会において、総務教民常任委員会では陳情1件を採択し、発議案として議会に提出、可決され国及び県へ意見書を提出しました。

陳情を採択

医療費助成の拡充を求める

10月臨時会 & 12月定例会採決一覧表

○賛成 ×反対

※議長は採決に参加しない

岩岡議員は県北地区監査委員協議会先進地視察研修のため10月臨時会を欠席。

また、その他12月臨時会の「各施設指定管理者の指定」に関する議案について、議員本人あるいは親族に利害関係があった場合は地方自治法117条に則り、該当議員を退席させ採決を行いました。

会議	議案番号	議 案 内 容	宇部武典	岩岡吉比古	古館幹男	八幡文耕	山田陽子	内野澤進	米田徳一郎	米田忠一	小野寺光男	中川大和	廣内和之	武又正人	結 果
臨時 第2 回	議案第1号	平成27年度野田村一般会計補正予算（第4号）	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第2号	城内地区津波復興土地区画整理事業仮設店舗移設（3号）工事の請負契約の締結 に関し議決を求めることについて	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第3号	村道改良（1号）工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第 2 回 定 例 会	議案第1号	平成27年度野田村一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第2号	平成27年度野田村後期高齢者医療特別会計（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第3号	平成27年度野田村公共下水道事業特別会計（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第4号	平成27年度野田村国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第5号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づ く個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第6号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第7号	野田村税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第8号	久慈消防署野田分署新築の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第9号	城内地区津波復興土地区画整理事業仮設店舗移設（3号）工事の変更請負契約の 締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第10号	野田村総合運動公園野球場改修工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めるこ とについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第11号	開業医院準備資金貸付金に係る権利を放棄することに関し議決を求めることに ついて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第12号	南浜地区コミュニティセンターの指定管理者を指定することに関し議決を求める ことについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第13号	下安家地区コミュニティセンターの指定管理者を指定することに関し議決を求め ることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第14号	玉川児童館の指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第15号	野田村生活支援ハウスの指定管理者を指定することに関し議決を求めることに ついて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第16号	観光物産館ばあぶるの指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第17号	国民宿舎えぼし荘の指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第18号	野田村農林水産物直売所の指定管理者を指定することに関し議決を求めることに ついて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第19号	根井・和野平地区畑地かんがい施設の指定管理者を指定することに関し議決を求 めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第20号	御台場農村公園の指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第21号	根井地区農村公園の指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第22号	大葛地区農村公園の指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第23号	米田地区農村公園の指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第24号	泉沢地区農村公園の指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第25号	玉川地区農村公園の指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第26号	上明内地区農村公園の指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第27号	玉川地区活性化センターの指定管理者を指定することに関し議決を求めることに ついて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第28号	上明内地区活性化センターの指定管理者を指定することに関し議決を求めること について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第29号	アジアの広場の指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第30号	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第31号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	発議案第1号	安全保障関連法案の強行採決に抗議し前国会で成立した安全保障関連法の廃止を 求める意見書の提出について	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	否
	発議案第2号	子どもの医療費無料化と国民健康保険財政調整交付金削減のペナルティをやめる ことを求める意見書の提出について	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	可
	発議案第3号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

復興状況を確認！

～東日本大震災津波復興特別委員会～

東日本大震災津波復興特別委員会（岩岡吉比古委員長）は、27年11月16日に村内の復興工事などの現場を視察しました。

はじめに、野田海岸及び前浜地区の防潮堤工事現場を訪れ、進捗状況や様々な対策に関する説明に熱心に耳を傾けました。

また、三陸沿岸道の工事現場も訪れ、実際にトンネル内部に入り作業の様子を確認するなどして、復興状況に関する理解をより深めました。



三陸沿岸道路工事現場（野田IC予定地付近）の視察の様子



三陸沿岸道路工事現場（浜山トンネル）の視察の様子

あとがき

新人議員として早いもので、6か月が経過しました。定例会をはじめ、さまざまな活動を通じて議員として、改めて責任を自覚しているところです。

さて、この度、議会広報編集委員会が発足しまして、委員長の大役を務めることになりました。村民の方々に読んでもらい、議会活動を理解して頂けるよう、委員全員で編集に心がけますので、ご意見等、お気軽にお寄せくださるようお願いいたします。（小野寺）

議会広報編集委員会

委員長 小野寺 光男

副委員長 山田 陽子

委員 宇部 武典・古館 幹男・米田 徳一郎・廣内 和之

◎ 議会の動き(9月～12月) ◎

《9月》

- 9月12日 八戸・久慈自動車道整備促進住民大会
(久慈市文化会館)・・・全議員
- 9月13日 上明内地区二百十日祭
(上明内地区活性化センター)・・・議長
- 9月15日 野田村敬老会（えぼし荘）・・・全議員
- 9月27日 八幡神社祭典・二百十日祭
(八幡神社・泉沢公民館)・・・議長
- 9月28日 新町地区コミュニティセンター地鎮祭
(新町地区コミュニティセンター建設予定地)
・・・議長・副議長
- 9月29日 第16回野田村シルバースポーツ大会
(野田村体育館)・・・全議員

《10月》

- 10月2日 北部地区町村議会議長会創立55周年記念事業
(久慈グランドホテル)・・・全議員
- 10月4日 野田村民大運動会（山村広場）・・・議長
- 10月15日 **臨時議会・村政調査会**・・・**全議員**
長野県青木村議会野田村視察研修会（役場）
・・・議長・副議長
- 10月17日 野田小学校学習発表会（野田小学校）
・・・全議員
- 10月22日 第66回全国漁港漁場大会（東京都）
・・・議長
- 10月24日 野田中学校文化祭（野田中学校）
・・・全議員

《11月》

- 11月5日 自由民主党「市町村重点要望調査」
・・・議長
- 11月10日 岩手県町村議会議長会定例理事会・臨時総会
岩手県選出国會議員との懇談会（東京都）
・・・議長・副議長
- 11月11日 第59回町村議会議長会全国大会（東京都）
・・・議長・副議長
- 11月12日・13日
平成27年度北部地区町村議会議長会行政視察研修
(三重県南伊勢町・鳥羽市)
・・・議長・副議長
- 11月16日 **東日本大震災津波復興特別委員会・村政調査会**
・・・**全議員**
- 11月19日 **小・中学校視察**・・・**総務教民常任委員**
- 11月21日 金刀比羅祭典及び祝賀会
(金刀比羅様・えぼし荘)・・・議長
- 11月27日 九戸村合併六十周年記念式典
(九戸体育センター)・・・議長
久慈地区市町村議会連絡協議会
議員研修会・交流会
(洋野町・八木防災センターほか)
・・・全議員

《12月》

- 12月4日 **全員協議会**
議会運営委員会
議会改革等に関する特別委員会・・・**全議員**
(議会広報編集委員会発足)
- 村議会議員と商工会役委員との情報交換会
(生涯学習センター)・・・全議員